

48 議員への連絡に「既読」機能を備えたグループウェアを導入し、メールの到達確認を不要に【栃木県宇都宮市】



- 議員への連絡にグループウェアを導入し、連絡事項の受信確認を効率化
- 災害時における迅速な安否確認、効率的な被害状況の集約を可能に

事業の概要

- 議会事務局と議員との間の連絡ツールとして、グループウェア（LINE WORKS）を採用している。
- **グループウェアの「既読」機能を利用することで、連絡を確認していない議員が分かるため、従来電話で行っていたメールの受信確認が不要になり、議会事務局の業務負担が軽減。**
- 災害発生時には、事務局がアンケート機能を用いて議員の安否確認を行い、議員は地域の被害状況の写真や動画をトークルームに送信する運用としており、非常時の情報集約も効率化。

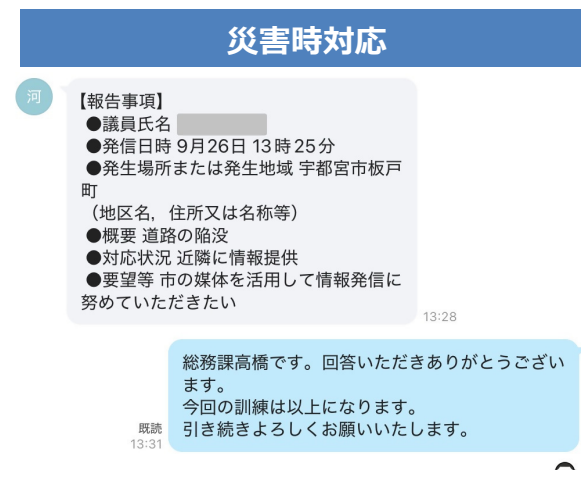
[グループウェアの活用シーン（一例）]



- ✓ 「既読」機能により、電話での到達確認が不要に



- ✓ アンケート機能の活用により、効率的に出欠の意向を確認



- ✓ 災害時における迅速な安否確認、効率的な被害状況の集約を可能に

48 議員への連絡に「既読」機能を備えたグループウェアを導入し、メールの到達確認を不要に【栃木県宇都宮市】

事業効果



- 議会事務局から議員に対し、重要な案件に関するメールの受信確認が不要となったため、業務負荷が軽減された。
- 議会事務局から全議員に周知を行う際の、事務処理にかかる時間が3分の1に低減した。
- 議員が異なる会派の議員へ連絡する際に、電話やメールに比べ気軽に連絡を取ることが可能となり、心理的抵抗が軽減されることから、以前よりも活発に交流できるようになった。
- 災害時における迅速な安否確認、効率的な被害状況の集約を行える仕組みとしている。

コスト



※主にシステム導入等に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	0円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	302千円
(内訳)	0円	(内訳) ・システム利用料 (5千円/端末1台)	302千円
(備考)		(備考)	



スケジュール

検討開始から導入までの期間 2年

スケジュールの内訳

- R2.4～9 グループウェアの選定・導入決定（6か月）
- R2.10～ 体験版を試行（6か月）
- R3.4～ 無料版を試行（1年）
- R4.4～ 有料版へ移行・運用開始



サービス提供事業者等

サービス提供事業者	株式会社LINE、株式会社プライド
サービス名	LINE WORKS
運用形態	パッケージ製品をクラウド環境で運用
その他参画主体	—



担当部署 宇都宮市議会事務局総務課

電話 028-632-2604

メール u3104@city.utsunomiya.tochigi.jp

48 議員への連絡に「既読」機能を備えたグループウェアを導入し、メールの到達確認を不要に【栃木県宇都宮市】



(総務省)

導入に至ったきっかけ・背景（導入前の課題）について教えてください。

宇都宮市では、平成27年より議会DXに関する検討組織を設置しており、愛知県安城市へタブレット端末の利活用について視察を実施するなど、他市の先進事例を参考にしながら議会DXを推進しています。

議会DXの一環として全議員にタブレットを配布したことで、事務局と議員との間の連絡手段が、それ以前の「紙と電話」から「メールと電話」に変更されましたが、重要な事案のメールについては、依然として電話で受信確認をしていました。宇都宮市議会には45名の議員が在籍しており、多くの議員に電話で受信確認することは、事務局にとって大きな負担でした。

また、一部の議員は、「タブレットを持ち歩くのは負担が大きい」として、自宅や事務所に置いたままにしていたため、事務局からのメールを確認することができなくなることが多々ありました。

これらの課題を解決するため、受信確認ができる機能をもったグループウェア等を導入したいと考え、検討を開始しました。



(宇都宮市)

**導入にあたり工夫した点・意識した点を教えてください。**

グループウェアの導入するに際しては、これまでメールやFAXで行っていた事務局と議員間の連絡調整手段の見直しを行うとともに、「経済性・機能性・使いやすさ」などの視点で、複数のグループウェアを比較・検討し、選定しました。

中でもLINE WORKSは、普段から使い慣れているであろうコミュニケーションアプリに見た目や操作性が非常に似ており、**グループウェアに馴染みのない議員や事務局職員にとっても活用がしやすい**と思われたソフトでした。また、**複数のデバイスで同時に利用できることから、タブレットに加えて、議員の私用のスマートフォンにもインストールしてもらうことで、タブレットを持ち歩かない議員にも、速やかに連絡することができます。**

一方で、LINE WORKS独自の機能や操作もあるため、議員が操作に不自由しないよう、研修会を開催する、事務局で質問対応を行うなどの取組をしています。

**今後の展望を教えてください。**

議員からツールの操作に関する質問が寄せられることも徐々に少なくなっており、十分に定着していると感じています。今後も継続利用する予定です。



☆担当：宇都宮市議会事務局☆